

令和6年度 第2回長崎学ネットワーク会議公開学習会

(主催 長崎学ネットワーク会議)

文政天保期の長崎書画会と江南の文人たち

講師：唐 権 氏 (華東師範大学外語学院 副教授)



長崎書画会が開催された花月楼(現・史料料亭花月)(写真:長崎市教育委員会)(左)と、長崎書画会の目録の見返し(長崎歴史文化博物館蔵「花月楼書画 天保2年3月」)(右)

文政末期から天保初期にかけての数年間、木下逸雲と村尾万載を盟主とする長崎清譚会により、計八回の書画会が催された。長崎地元の人々のみならず、日本各地ないし東アジアの国々から多くの参加者が現れた点からすれば、日本書画会史上における空前絶後の一大イベントであったといつてよい。長崎書画会は如何にして誕生したのか、その歴史を追ってみたい。その上、蘇州や杭州など江南の都市に住んでいる文人たちとの関わりをも探ってみたい。

【講師略歴】

中国四川省生まれ。留学生として来日し、総合研究大学院大学文化科学研究科国際日本研究専攻後期博士課程修了。博士(学術)。関西外国語大学や甲南大学などで講師を歴任。2009年に帰国後、現職。専門は日中文化交流史、日中比較文化論。主な著書に、『海を越えた艶ごと』(新曜社、2005年)。

令和6年7月25日(木)18:00~20:00

会場 長崎歴史文化博物館 1階ホール (定員120人、先着順)

入場料無料、要事前申込

電話(長崎市代表・あじさいコール:095-822-8888 ※会場参加分のみ)、
ファックス(長崎市長崎学研究所:095-818-8377 ※チラシ下部の申込事項)、
長崎市役所公式ホームページ(<https://www.city.nagasaki.lg.jp/>)から



【オンラインでも受講可(定員30人)】

参加御希望の方は、7月23日(火)までにお申込み下さい。(視聴に伴うデータ通信費用は参加者負担。お申込みはホームページが最もスムーズです)。7月24日(水)中に学習会用WEB会議室(zoomを利用)リンク先のアドレスを送信します。

なお、参加は視聴のみでご質問やご発言は通信容量の観点からお受けできませんので御了承下さい。

申込事項	参加場所 [会場 ・ オンライン]	お名前(フリガナ)	
電話番号		メールアドレス(オンラインの方)	
年代		公開学習会を何で知ったか	